

# WEB INFORMATION

ホームページのご案内

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

ホームページアドレス <http://www.adeka.co.jp>



トップページ



IRページ

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する[e-株主リサーチ]サービスにより実施いたします(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)。ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。  
●アンケートのお問い合わせ [e-株主リサーチ事務局] TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4401

いいかぶ 検索

空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

株式会社 **ADEKA**

〒116-8554 東京都荒川区東尾久七丁目2番35号  
TEL. 03-4455-2801

# 154th

## 第154期 決算のご報告

2015年4月1日~2016年3月31日

### CONTENTS

- 連結財務ハイライト
- 株主の皆様へ
- 報告セグメント別概況
- 中期経営計画「STEP 3000-II」の進捗状況
- 連結財務諸表
- 個別財務諸表
- 株式の状況
- 会社の概要
- ネットワーク

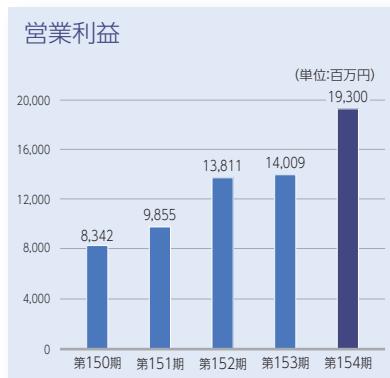


株式会社 **ADEKA**  
(証券コード 4401)

BUSINESS REPORT



中国 上海 浦東新区 東方明珠電視塔とビル群  
当社は、2017年1月に創立100周年を迎えます。  
中国をはじめ、海外12の国と地域におけるグループ会社22社で、グローバルに事業展開しております。



# To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
 当社グループの第154期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の事業概況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長  
 郡 昭夫



世界経済は、米国及び欧州では雇用改善を背景に内需の拡大が続き、全体としては緩やかな回復基調で推移しましたが、中国をはじめとする新興国経済の景気減速が鮮明となり、先行きの不透明感が強まりました。国内は企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調が持続しました。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画「STEP 3000-II」の基本戦略「コア事業を中心とした規模拡大」「第3のコア事業の育成」「新規事業の育成や業容・領域の拡大」に基づく事業展開を積極的に推し進めました。

当期の業績につきましては、売上高は2,227億46百万円(前期比8.2%増)、営業利益は193億円(同37.8%増)、経常利益は195億69百万円(同18.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は132億59百万円(同18.6%増)となり、いずれも過去最高を更新しました。

年間配当金につきましては、当期の業績、財務状況等を総合的に勘案し、当初予想から2円増配し、1株につき30円(中間配当金14円、期末配当金16円)とさせていただきます。

## ●2016年度通期見通し

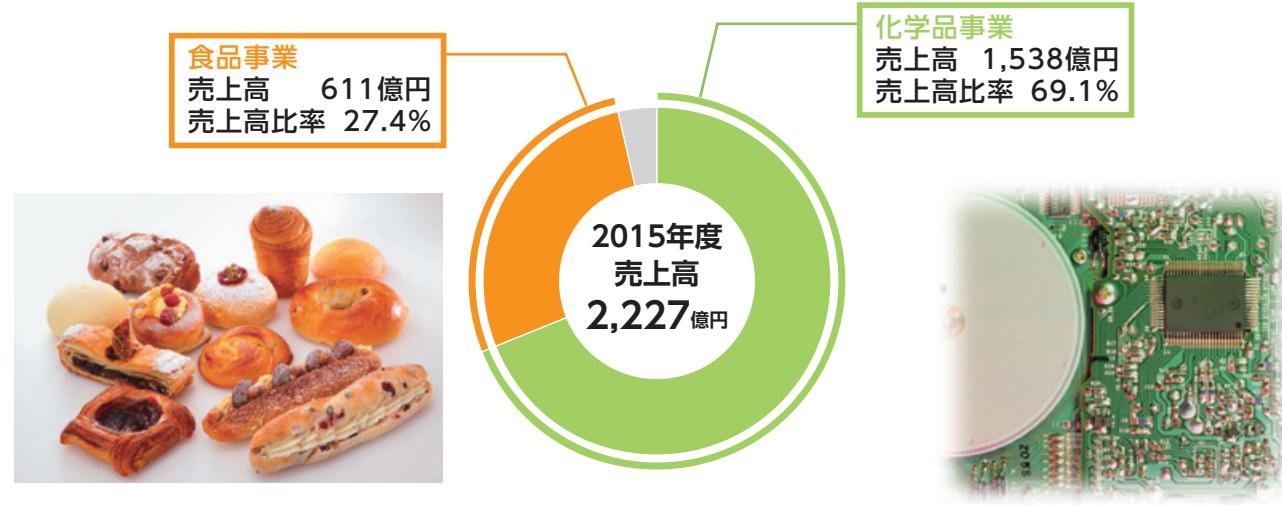
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期見通し	2,310億円	194億円	198億円	135億円
前期比増減率	3.7%増	0.5%増	1.2%増	1.8%増

当社グループは、2017年1月に迎える創立100周年を見据え、2015年度から2017年度までの中期経営計画「STEP 3000-II」を推進しております。この3カ年は、「売上高3,000億円のグッドカンパニーを実現する期間」であるとともに、「中長期的な目指すべき方向性を示した2025年のありたい姿『ADEKA VISION 2025』の実現に向けた最初の3年間」として、グループ経営管理の強化、海外事業の拡大、コア技術の深耕を推進していきます。また、2016年度は、『STEP 3000-II』を実現するための重要な中間年度と位置付け、これまで積み重ねてきた独自性の高い“技術”と、創業以来守り続けてきた“信頼”に磨きをかけて、国内市場に留まらず、海外12の国と地域におけるグループ会社22社との連携を強化しながら収益を拡大し、お客様にとって、社会にとって価値ある製品・サービスを創造してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

●セグメント別売上高



●主要製品

事業	主要製品
<b>化学品事業</b>	
情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光記録材料、画像材料、その他
機能化学品	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、その他
基礎化学品	プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、その他
<b>食品事業</b>	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ用油脂、ホイップクリーム、濃縮乳タイプクリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他
<b>その他の事業</b>	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他

化学品事業 Chemical ADEKA

当事業の売上高は、1,538億29百万円（前期比8.0%増）、営業利益は171億31百万円（同38.8%増）となりました。

① 情報・電子化学品

半導体材料は、最先端の微細化プロセスに対応したDRAMやNANDメモリ向け製品が、海外を中心に伸長しました。回路材料は、国内市場の縮小や海外市場での生産調整の影響を受け、総じて低調に推移しました。光学フィルムやフォトレジストに使用される光硬化樹脂や光重合開始剤などの感光性材料は、ディスプレイの高精細化や半導体の微細化に対応し、競争力の高い独自製品が国内外で大きく伸長しました。情報・電子化学品全体では、前期に比べ増収増益となりました。

② 機能化学品

樹脂添加剤は、自動車及び建材などに使われる樹脂の国内生産が底堅く推移し、透明化剤、造核剤、光安定剤などの販売が伸長しました。海外では透明化剤、光安定剤などの高機能製品と汎用の酸化防止剤が伸長しました。界面活性剤は、化粧品原料の販売数量が減少しましたが、塗料・接着剤向けが国内外で伸長しました。潤滑油添加剤は、自動車エンジンオイル向けの添加剤が国内外で堅調に推移しました。機能性樹脂は、自動車向けの高機能な特殊エポキシ樹脂が海外を中心に伸長しました。機能化学品全体では、前期に比べ増収増益となりました。

③ 基礎化学品

プロピレングリコール類は、トイレットリー等の日用品用途の需要が堅調に推移しました。過酸化水素は、販売価格の改定を行うとともに、期を通じて生産・物流効率の見直しなどのコスト削減に取り組みました。また同誘導品は、電子材料、工業用洗浄剤用途で販売数量が伸長しました。基礎化学品全体では、前期に比べ増収増益となりました。

食品事業 Food RISU BRAND

当事業の売上高は、611億20百万円（前期比7.2%増）、営業利益は16億18百万円（同41.6%増）となりました。

製パン、洋菓子・デザート向けにマーガリン、ホイップクリーム、フィリング類が好調に推移しました。海外では、製パン、製菓向けに加工油脂製品、フィリング類が伸長しました。食品事業全体では、前期に比べ増収増益となりました。



中長期的な経営ビジョン



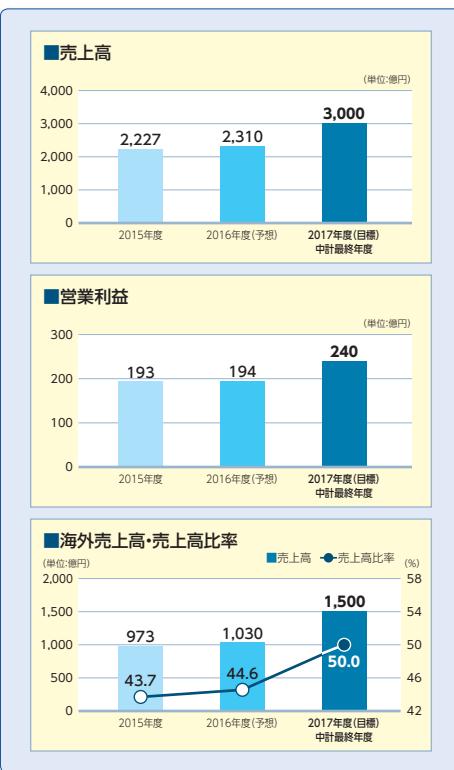
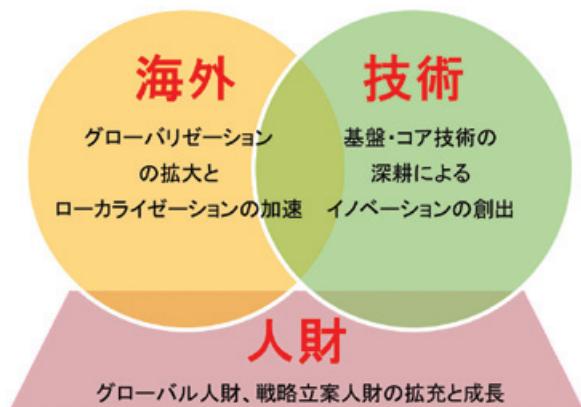
中期経営計画『STEP 3000-II ～グッドカンパニーの実現～』

- 期間** 2015年度～2017年度(3カ年)
- 位置付け** ・売上高3,000億円のグッドカンパニーを確実に実現する期間  
・ADEKA VISION 2025の実現に向けた最初の3年間

[3つの基本戦略]

- ① コア事業を中心とした規模拡大
- ② 第3のコア事業の育成(情報・電子)
- ③ 新規事業の育成や業容・領域の拡大

[3つの基本方針]



① コア事業拡大への取り組み

【樹脂添加剤事業】

樹脂添加剤事業では、事業規模の拡大とグローバル競争力のさらなる強化のため、海外拠点と連携し、透明化剤、造核剤、光安定剤などの高機能製品を拡販しています。

また、汎用酸化防止剤の供給体制を強化し、新興国市場をターゲットに販売拡大に取り組んでいます。

【中東】

アラブ首長国連邦のADEKA Al Ghurair Additives LLCの製造プラントは高稼働を続け、中東地域でのポリオレフィン用ワンパック顆粒添加剤の需要増に応えています。

【タイ】

研究開発では、タイのADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.の実験・製品評価設備などを充実し、顧客サービスのさらなる強化を図りました。

また、鉛、錫、フェノールを含まない塩化物安定剤などの環境調和型製品や、長波長紫外線吸収剤やヒンダードアミン系光安定剤などの独自性のある新製品の開発にも積極的に取り組んでいます。



ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.

【食品事業】

食品事業では、国内の基盤強化、海外展開の推進に取り組んでいます。

【国内の基盤強化】

焼き菓子のしっとり感の持続等の特長を訴求したバターコンパウンド製品「マルシェブルターニュガトー」や、バター風味や小麦など素材本来の風味を引き立てる植物性マーガリン「ソシエル」など、おいしさと高い機能性をあわせもつ戦略製品の拡販に努めています。

【海外展開の推進】

中国、東南アジアに展開し、現地ニーズに沿った製品開発や海外拠点との連携による販売促進に取り組んでいます。

マレーシアのADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD.の油脂加工製品工場では、ハラル認証に続き、2015年4月にマレーシア政府保健省からHACCP認証を取得し、アジア地域のお客様に安心・安全な製品を提供する取り組みを推進しています。



ADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD.

## ②成長事業拡大への取り組み

成長事業である情報・電子化学品事業では、情報化学品・電子材料の両分野で、事業拡大・業容拡大に取り組んでいます。

### 【情報化学品】

最先端の液晶ディスプレイ向けに、高い感度・透明性を備えた高感度光重合開始剤「アデカアークルズNCIシリーズ」の開発を行いました。

また、ブラックマトリックスレジストの生産・販売体制を台湾に集約し、コスト競争力を強化しました。

### 【電子材料】

スマートフォン等の高性能モバイル端末などに使われるDRAM・NANDメモリ向け製品の拡販や設備投資などに取り組みました。

また、次世代ロジック半導体用新規材料の開発を推進しました。

## 化学品展示会情報

### ◆FEIPLAST 2015

酸化防止剤、造核剤、透明化剤、光安定剤、難燃剤などの樹脂添加剤製品を出展しました。(5月4日～8日 ブラジル)

### ◆Chinaplas 2015

ポリオレフィン、エンプラ向け高耐熱酸化防止剤、ポリオレフィン向けノンハロゲン難燃剤、PET向け高性能核剤、環境配慮型PVC安定剤などを出展しました。(5月20日～23日 中国 広州)

### ◆JPCA Show 2015

各種エッチング剤、基板用絶縁接着フィルム、シリコンモールドイングリフレッター材料、鋳体型銅インクを出展しました。(6月3日～5日 東京ビッグサイト)

### ◆第7回化粧品産業技術展 CITE Japan 2015

高弾力性水系ゲル化剤、界面活性剤フリー化を可能とするウレタンポリマー、パラベンフリー処方を実現する機能性グリコール、酵母由来の天然抗シワ成分、角質保護成分を出展しました。(6月3日～5日 パシフィコ横浜)

### ◆in-cosmetics Korea 2015

高弾力性水系ゲル化剤、パラベンフリー処方を実現する機能性グリコール、酵母由来の天然抗シワ成分、角質保護成分、有機系中和剤を出展しました。(6月15日～16日 韓国 ソウル)

### ◆PCHi 2016

高弾力性水系ゲル化剤、パラベンフリー処方を実現する機能性グリコール、有機系中和剤を出展しました。(3月1日～3日 中国 上海)



FEIPLAST 2015



in-cosmetics Korea 2015

## ③新規事業の育成

新規事業創出に向けて、「ライフサイエンス」と「環境・エネルギー」の分野に注力しています。

### 【ライフサイエンス】

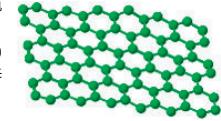
ワクチンの効能を高め、インフルエンザウイルスの感染防御に効果がある補強材「経鼻投与型インフルエンザワクチンのアジュバント」の研究開発を推進しました。

### 【環境・エネルギー】

東京大学からグラフェンの製造技術に関する特許の独占ライセンスを取得し、サンプル提供を開始しています。この製造技術により、短時間に高収率・高濃度・高品質なグラフェンを安定的かつ大量に提供することが可能となり、2020年までの商業生産化を目指しています。

### グラフェンとは

フラーレンやカーボンナノチューブに代表されるナノカーボンの一種。電気を良く通す、軽くて強いなどの特徴があり、将来の燃料電池、半導体、タッチパネルなどの材料として期待されています。



当社のグラフェンサンプル (分散液)

## 食品展示会情報

### ◆Bakery China 2015 (第18回中国国際ベーカリー展示会)

機能性油脂、バターコンパウンドマーガリン、各種フィリングなどを出展しました。(5月12日～15日 中国 上海)

### ◆パティスリー&ブーランジェリージャパン2015

ポンドマーガリン、折り込み用油脂、ブレンド用ホイップクリームなどを出展しました。(6月16日～18日 東京ビッグサイト)

## 食品新製品 (2016年度 RISU BRANDテーマ「おいしい工夫」)

### ◆エレバール

生地に練り込むことでパンの味わいを高めることができるマーガリン。「おいしい」を構成する要素に着目し、当社独自開発の呈味素材などをバランス良く配合したことで、パンの味わいが最後までつづきます。

### ◆オリンピアメローシート/スライス

おいしいデニッシュ生地を作るための折り込みマーガリン。原料油脂の選定と当社独自開発の呈味素材をバランス良く配合することで豊かな味わいが続きます。

### ◆マルシェブルターニュナチュレル

良質で自然なバター風味を実現したコンパウンドマーガリン。配合されているブルターニュ産バターは、良質なミネラルを多く含んでおり、フランスでも高い評価を得ています。

クッキー類をはじめとした焼き菓子全般、半生菓子、パン用など、幅広くお使いいただけます。



Bakery China 2015

「エレバール」を使用したパンの応用例



「オリンピアメローシート」を使用したパンの応用例



「マルシェブルターニュナチュレル」を使用した焼き菓子等の応用例



■連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度末 (2016.3.31現在)	前連結会計年度末 (2015.3.31現在)	前年度末比増減
① 流動資産	145,076	135,558	9,518
固定資産	124,962	125,553	△591
② 有形固定資産	78,529	76,640	1,888
無形固定資産	3,818	3,460	358
③ 投資その他の資産	42,613	45,452	△2,838
資産合計	270,038	261,112	8,926
④ 流動負債	65,991	69,493	△3,501
⑤ 固定負債	33,461	28,385	5,075
負債合計	99,452	97,878	1,574
株主資本	153,363	143,251	10,112
資本金	22,899	22,899	—
資本剰余金	19,926	19,925	0
利益剰余金	110,764	100,652	10,112
自己株式	△227	△226	△0
その他の包括利益累計額	9,945	13,667	△3,721
その他有価証券評価差額金	4,490	6,363	△1,872
土地再評価差額金	4,276	4,095	180
為替換算調整勘定	4,082	5,316	△1,233
退職給付に係る調整累計額	△2,904	△2,108	△796
非支配株主持分	7,276	6,314	962
純資産合計	170,586	163,233	7,352
負債・純資産合計	270,038	261,112	8,926

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 159,252百万円  
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

① 流動資産の増減額 現金及び預金の増加 有価証券の増加 が主な要因です。	9,518百万円 7,741百万円 1,500百万円	④ 流動負債の増減額 1年内返済予定の長期借入金の減少 が主な要因です。	△3,501百万円 △4,032百万円
② 有形固定資産の増減額 機械装置及び運搬具の増加 建設仮勘定の減少 が主な要因です。	1,888百万円 3,059百万円 △1,875百万円	⑤ 固定負債の増減額 長期借入金の増加 退職給付に係る負債の増加 が主な要因です。	5,075百万円 3,348百万円 1,900百万円
③ 投資その他の資産の増減額 投資有価証券の減少 が主な要因です。	△2,838百万円 △2,372百万円		

■連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (2015.4.1~ 2016.3.31)	前連結会計年度 (2014.4.1~ 2015.3.31)	前期比増減
売上高	222,746	205,890	16,856
⑥ 営業利益	19,300	14,009	5,291
⑥ 経常利益	19,569	16,506	3,063
税金等調整前当期純利益	18,756	16,115	2,641
親会社株主に帰属する当期純利益	13,259	11,183	2,075

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (2015.4.1~2016.3.31)	前連結会計年度 (2014.4.1~2015.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,806	17,419
⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,673	△12,867
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,566	△2,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	△860	1,288
現金及び現金同等物の増減額	7,706	3,027
現金及び現金同等物期首残高	41,697	38,670
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	577	—
現金及び現金同等物期末残高	49,981	41,697

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

当連結会計年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)	株 主 資 本				その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
2015年4月1日残高	22,899	19,925	101,629	△226	144,228	6,363	4,095	4,360	△2,108	12,711	6,315	163,255
会計方針の変更による累積的影響額			△976		△976			956		956	△0	△21
会計方針の変更を反映した当期首残高	22,899	19,925	100,652	△226	143,251	6,363	4,095	5,316	△2,108	13,667	6,314	163,233
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			△2,897		△2,897						—	△2,897
親会社株主に帰属する当期純利益			13,259		13,259						—	13,259
連結範囲の変動			△250		△250						—	△250
自己株式の取得				△0	△0						—	△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		0			0						—	0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					—	△1,872	180	△1,233	△796	△3,721	962	△2,759
連結会計年度中の変動額合計	—	0	10,112	△0	10,112	△1,872	180	△1,233	△796	△3,721	962	7,352
2016年3月31日残高	22,899	19,926	110,764	△227	153,363	4,490	4,276	4,082	△2,904	9,945	7,276	170,586

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

なお、当連結会計年度より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号2013年9月13日)等を適用し、「当期純利益」を「親会社株主に帰属する当期純利益」としてしております。  
また、当連結会計年度より、在外子会社の収益及び費用は、在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算する方法から、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更し、遡及適用後の数値で前連結会計年度との比較を行っております。

POINT

⑥ 売上高営業利益率 8.7% (前連結会計年度 6.8%)  
売上高経常利益率 8.8% (前連結会計年度 8.0%)

⑦ 投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳  
有形固定資産の取得による支出 △8,345百万円  
フリー・キャッシュ・フロー 13,133百万円(前連結会計年度 4,552百万円)  
※営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを差し引いた金額

■ 貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2016.3.31現在)	前 期 (2015.3.31現在)	前期比増減
<b>(資産の部)</b>			
① 流動資産	88,839	84,059	4,779
固定資産	100,704	100,831	△127
② 有形固定資産	59,158	57,976	1,182
無形固定資産	2,662	2,411	251
投資その他の資産	38,882	40,443	△1,561
<b>資産合計</b>	<b>189,543</b>	<b>184,891</b>	<b>4,652</b>
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	35,676	39,778	△4,101
固定負債	22,708	19,057	3,650
<b>負債合計</b>	<b>58,384</b>	<b>58,835</b>	<b>△450</b>
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	122,796	116,067	6,728
資本金	22,899	22,899	-
資本剰余金	19,925	19,925	-
利益剰余金	80,141	73,411	6,729
自己株式	△170	△169	△0
評価・換算差額等	8,362	9,987	△1,625
その他有価証券評価差額金	4,086	5,892	△1,806
土地再評価差額金	4,276	4,095	180
<b>純資産合計</b>	<b>131,158</b>	<b>126,055</b>	<b>5,103</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>189,543</b>	<b>184,891</b>	<b>4,652</b>

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 131,049百万円  
2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位:百万円)

当事業年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)	株 主 資 本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差 額 金	評価・換算 差額等合計	
2015年4月1日残高	22,899	19,925	73,411	△169	116,067	5,892	4,095	9,987	126,055
事業年度中の変動額									
剰余金の配当			△2,897		△2,897				△2,897
当期純利益			9,626		9,626				9,626
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						△1,806	180	△1,625	△1,625
事業年度中の変動額合計			6,729	△0	6,728	△1,806	180	△1,625	5,103
2016年3月31日残高	22,899	19,925	80,141	△170	122,796	4,086	4,276	8,362	131,158

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2015.4.1~ 2016.3.31)	前 期 (2014.4.1~ 2015.3.31)	前期比増減
③ 売上高	123,567	120,796	2,771
④ 営業利益	11,911	8,703	3,208
⑤ 経常利益	13,449	10,605	2,844
税引前当期純利益	12,274	10,245	2,029
当期純利益	9,626	7,462	2,163

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

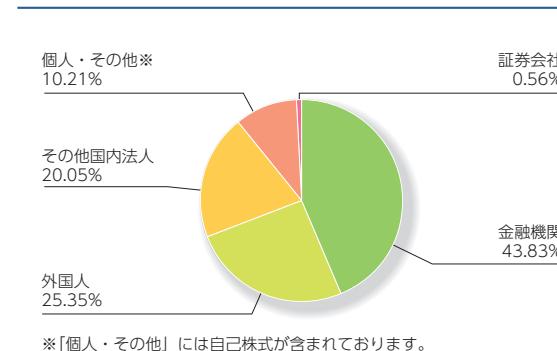
POINT

- ① 流動資産の増減額 4,779百万円  
現金及び預金の増加 2,796百万円  
有価証券の増加 1,500百万円  
が主な要因です。
- ② 有形固定資産の増減額 1,182百万円  
機械装置の増加 3,006百万円  
建設仮勘定の減少 △2,026百万円  
が主な要因です。
- ③ 売上高 2.3%の増収  
化学品事業は0.8%の増収、食品事業は5.1%の増収  
売上高輸出比率は、前期20.6%から0.4ポイント増加、21.0%  
となりました。
- ④ 売上高営業利益率 9.6% (前期7.2%)
- ⑤ 売上高経常利益率 10.9% (前期8.8%)

株式の状況

発行可能株式総数 400,000,000株  
発行済株式総数 103,651,442株  
当期末株主数 5,375名 (前期末比119名増)

所有者別株式分布状況



大株主 (上位10名)

順位	株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
1	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,582	6.36
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,691	4.53
3	朝日生命保険相互会社	4,053	3.92
4	みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	3,770	3.64
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	3,059	2.96
6	JP MORGAN CHASE BANK 380634	2,917	2.82
7	全国共済農業協同組合連合会	2,687	2.60
8	ADEKA取引先持株会	2,619	2.53
9	農林中央金庫	2,244	2.17
10	日本ゼオン株式会社	1,881	1.82

(注) 当社は自己株式174,477株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当: 3月31日 中間配当: 9月30日
公告方法	電子公告。但し、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株式事務手続きのお問い合わせ先

住所変更、単元未満株式の買取等の申し出先について

- 証券会社の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先  
株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
- 特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先  
三井住友信託銀行株式会社 (特別口座管理機関) にお申し出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 会社の概要

### 会社の概要 (2016年3月31日現在)

設立	1917年1月27日
資本金	22,899,673,072円
従業員数	3,241名 (連結) 1,561名 (単独)

### 役員 (2016年6月24日現在)

代表取締役社長	郡 昭 夫
取締役 常務執行役員	富 安 治 彦
取締役 常務執行役員	辻 本 光
取締役 執行役員	矢 島 明 政
取締役 執行役員	北 森 一 孝
取締役 執行役員	荒 田 亮 三
取締役 執行役員	田 島 興 司
取締役 執行役員	幸 野 俊 則
取締役 執行役員	城 詰 秀 尊
取締役 (社外)	永 井 和 之
取締役 (社外)	矢 野 弘 典
常勤監査役	柴 田 良 平
常勤監査役	林 義 人
監査役 (社外)	奥 山 章 雄
監査役 (社外)	竹 村 葉 子
監査役 (社外)	佐 藤 美 樹

### 執行役員 (2016年6月24日現在) \*取締役業務者を除く

常務執行役員	板 垣 和 雄
執行役員	飛 田 悦 男
執行役員	志 賀 洋 二
執行役員	芳 仲 篤 也
執行役員	兄 部 真 二
執行役員	安 田 晋
執行役員	穴 戸 康 司
執行役員	角 田 憲 康
執行役員	小 林 義 昭
執行役員	藤 澤 茂 樹

### 連結子会社の状況 (2016年3月31日現在)

名 称	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
ADEKAケミカルサプライ(株)	104	98.04 (間接所有3.61)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
ADEKAクリーンエイド(株)	140	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
ADEKAファインフーズ(株)	50	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造、販売
ADEKA総合設備(株)	130	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
AMFINE CHEMICAL CORP. [米国]	1,600万USドル	60.00	樹脂添加剤等の製造、販売
ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	800万Sドル	90.00	食用加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造、販売
オキシラン化学(株)	600	51.00	エポキシ系可塑剤等の製造、販売
ADEKA食品販売(株)	42	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
ADEKA物流(株)	50	100.00	貨物運送取扱事業、倉庫業、車輛等のリース
長江化学股份有限公司[台湾]	3,000万NTドル	50.50	樹脂添加剤及び特殊可塑剤等の販売
(株)ヨンゴ	18	92.14	製菓・製パン業務用資材の卸売
ADEKA KOREA CORP.	150億ウォン	100.00	化学製品の製造、販売
ADEKA (ASIA) PTE.LTD. [シンガポール]	80万USドル	100.00	化学製品の販売
ADEKA Europe GmbH [ドイツ]	50万ユーロ	100.00	化学製品の販売
台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTドル	100.00	液晶パネル関連薬剤の製造、販売、化学製品の輸入販売
ADEKA PALMAROLE SAS [フランス]	300万ユーロ	90.00 (間接所有90.00)	樹脂添加剤の製造、販売
ADEKAライフクリエイト(株)	65	90.00 (間接所有10.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器販売、ビル・住宅等の管理運営
艾迪科(上海)貿易有限公司[中国]	100万USドル	100.00	化学製品及び原材料の販売
艾迪科精細化工(上海)有限公司[中国]	2,050万USドル	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料等の製造、販売
艾迪科精細化工(常熟)有限公司[中国]	2,154万USドル	50.00	樹脂添加剤の製造、販売
上原食品工業(株)	70	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト調理食品の製造、販売
ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO., LTD.	3億5,000万バーツ	81.00	樹脂添加剤の製造、販売、輸入販売
艾迪科食品(常熟)有限公司[中国]	1,500万USドル	70.00	食用油脂、油脂加工食品の製造、販売
AM STABILIZERS CORP. [米国]	850万USドル	60.00 (間接所有60.00)	樹脂添加剤の製造、販売
ADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD. [マレーシア]	4,500万リンギット	60.00	食用加工油脂、マーガリン、ショートニング、ファットスプレッドの製造、販売

### 持分法適用関連会社の状況 (2016年3月31日現在)

名 称	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
日本農業(株)	10,939	24.21	農業等の製造、販売
(株)コープグリーン	80	46.88	石鹸、洗剤等の開発、販売

## ネットワーク (2016年3月31日現在)

### ●事業所

本 社	東京都荒川区
大 阪 支 社	大阪市中央区
名古屋支店	名古屋市中村区
福岡支店	福岡市博多区
札幌営業所	札幌市中央区
仙台営業所	仙台市青葉区

### ●生産工場

鹿島工場	神栖市東和田
千葉工場	袖ヶ浦市北袖
三重工場	三重県員弁郡
富士工場	富士市富士岡
明石工場	兵庫県加古郡
相馬工場	相馬市光陽

### ●研究所

尾久中央開発研究所	東京都荒川区
浦和開発研究所	さいたま市南区
久喜開発研究所	埼玉県久喜市
関西開発室	大阪市中央区

### ●海外拠点

ADEKA Europe GmbH	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA PALMAROLE SAS	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA Al Ghurair Additives LLC	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA INDIA PVT.LTD.	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA FINE CHEMICAL(THAILAND) CO.,LTD.	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA FOODS (ASIA) SDN. BHD. FELDA IFFCO OIL PRODUCTS SDN.BHD.	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA CORP. TOKYO HEAD OFFICE	ADEKA CORP. TOKYO HEAD OFFICE
AMFINE CHEMICAL CORP.	AMFINE CHEMICAL CORP.
ADEKA USA CORP.	ADEKA USA CORP.
AM STABILIZERS CORP.	AM STABILIZERS CORP.
長江化学股份有限公司	長江化学股份有限公司
台湾艾迪科精密化学股份有限公司	台湾艾迪科精密化学股份有限公司
ADEKA BRASIL LTDA.	ADEKA BRASIL LTDA.
艾迪科(上海)貿易有限公司	艾迪科(上海)貿易有限公司
艾迪科精細化工(上海)有限公司	艾迪科精細化工(上海)有限公司
艾迪科精細化工(常熟)有限公司	艾迪科精細化工(常熟)有限公司
艾迪科食品(常熟)有限公司	艾迪科食品(常熟)有限公司
長連旭(上海)貿易有限公司	長連旭(上海)貿易有限公司
國都化工(昆山)有限公司	國都化工(昆山)有限公司